

大学施設の老朽化対策により、 安心・安全な教育研究基盤を形成する

【対策】93 国立大学施設等の老朽化・防災機能強化対策

対策概要: 教育研究上著しく支障がある施設(ライフラインを含む)について、事故等のリスクを抱えた老朽施設の改善及び電気・水・ガス等のライフラインの更新等を実施する。

府省庁名: 文部科学省

【事例】三重大学(上浜)老朽化改修

- 実施主体: 国立大学法人 三重大学
- 実施場所: 三重県津市
- 事業概要: 築40年を経過し、老朽化で学生や研究者の安全性・居住性が著しく低下した教育研究施設について、外壁や屋上防水、内装等の改修や設備機器等の更新による長寿命化対策を実施。
- 事業費: 約3.2億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約3.2億円)
- 効果: 建物の安全性が改善されたことにより、災害発生時等における事故のリスクが低減し、安全・安心な教育研究環境を確保することが可能になる。



老朽化によりタイルが剥落



【事例】三重大学(上浜)
未来地域社会創造拠点Ⅱ